

電力系統図（1次系）

平成30年10月5日作成

凡 例

- 500kV 送電線
- 275kV 送電線
- 154kV 送電線
- 変電所
- 発電所
- 開閉所

- 黒：空容量あり
- 緑：空容量がないが、N-1電制により連系が可能となる見込みの電力設備
- 赤：空容量がなく、かつN-1電制適用不可など連系にあたり設備対策工事が発生する見込みの電力設備

- 他社 275kV 送電線
- 他社 154kV 送電線
- 他社変電所
- 他社発電所
- 他社開閉所

<注意事項>

・空容量の有無は目安であり、系統接続の前に、接続検討をお申込みいただき、その検討の中で接続点に応じた空容量を精査した上で、必要な対策を回答いたします。

・原則として熱容量に基づく空容量の有無を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。

・緑色・赤色個所は、空容量が不足しているため、発電設備等の連系にあたり、原則対策工事が必要となる設備となります。このうち緑色個所についてはN-1電制適用により発電設備の連系が可能となる見込みの設備となります。ただし、緑色・赤色個所以外において、連系制約が発生しないことを保証するものではありません。また、緑色個所においても、N-1電制適用にあたっては接続検討をお申込みいただき、その検討の中で適用にあたっての諸条件を確認の上、回答いたします。

・基幹系統以外の下位系統の制約で基幹系統の空容量が制限される場合があります。この場合であって、N-1電制を適用することにより、基幹系統に連系が可能となる場合は、基幹系統においても緑色で図示しております。

・本系統図は、66kV以下の系統については図示しておりません。このため、66kV以下の系統に連系をご希望される場合は、県別の系統図をご確認ください。

・暫定的な系統容量の確保は、不備のない契約申込み書類を受付けた日となりますが、公表している空容量は契約申込みの書類不備解消を確認してから算定しております。

このため、空容量以下の容量の系統連系を希望される場合であっても、上位系統の送変電設備の増強工事が必要となる場合があります。増強工事内容については、接続検討にて検討を行い回答いたします。

